

# 都市の成熟へ向けて

## 環境と調和しながら 生まれ変わる街並み

昭和50年代、住みよい緑園都市の実現に向けて、生活環境や教育施設の整備が進められていきました。

東金駅東口の区画整理事業により、市の表玄関は近代的な街並みに生まれ変わっています。市内には緑花木センターや中央公民館、東金図書館など、暮らしを豊かにする施設がオープンしました。また、下水道工事やガス拡張工事など、都市生活を支える事業も着々と進行。さらに、市内全域の小学校で新校舎や体育館が次々と完成し、子どもたちの教育環境も充実しました。



東金駅前に立看板を設置(1977) Installation of an information sign in front of Togane Station

近隣都市からの人口流入も増え、東金市の都市化が加速してまいります。

### 市民みんなの手で まちをきれいに

「東金市をきれいにする運動」が、市をあげて行われることになったのは昭和52年。都市化が進むにつれ、増え続けるゴミ。当時、市内から出るゴミは年間約6千トンにのぼりました。そのため、まちの美化やゴミ減量に取り組んだのです。

まず、市では市民からポスターと標語を募集。市役所庁舎に標語の垂幕を掲げ、標語入り立看板を市内35か所に設置しました。同年、「東金市街をきれいにする会」が発足し、多くの市民が空き缶拾い、側溝のヘドロあげ、草刈り、東金駅構内や周辺の清掃などに参加しています。

昭和53年には3月、6月、10月を「環境月間」と定め、全市一斉に、市民が各地区を清

掃するようになりました。

ゴミについては市が計画収集を行い、東金市外二町清掃組合で処理されていました。再資源化や処理費用削減のため、広報紙で毎号のように、生ゴミの水切りや不燃物の分別を呼びかけています。

昭和57年には、ドライバーにゴミ袋を配布し、空き缶のポイ捨て防止を訴えました。当時、全国で投げ捨てられる空き缶は年間百億個以上といわれ、車からのポイ捨てが社会問題となっていたためです。昭和59年に「花いっぱい運動」が始まり、クリーン(清潔)でグリーン(緑豊かな環境づくり)をめざしました。このように美しい東金市は、住民参加で、住民が主役となってつくりあげてきたのです。

### Working to bring Togane to maturation

The Togane Station East Entrance Project added a new face to the city. During this time, new and useful facilities were opened, including the Greenery Exhibition Center, the Central Public Center and Municipal Library. At the same time, sewer lines were built and gas lines expanded to make daily life in Togane more comfortable. And new schools and gymnasiums were built to upgrade education facilities.

The opening of the Chiba-Togane Expressway shortened traveling time to Tokyo and accelerated Togane's development.



第1回市民歩け歩け大会開催(1975)  
First Citizens' Walkathon

だれもが気軽に健康づくりをしながら、市内の名所や史跡めぐりができる歩け歩け大会は、この年、体育の日記念行事としてスタートしました。第1回大会には、早野尚治市長(当時)をはじめ市民約200人が参加しました。



東金市緑花木センターオープン(1976)  
Grand opening of Plant Center

良質の花木を気軽に買い求めることができる緑花木センターがオープンしました。約2万m<sup>2</sup>の敷地内に四季折々の花や緑が揃い、定期的に植木や盆栽のセリ市も開催。八角形のシンボルタワーは屋内展示場です。



山武郡市消防本部にレンジャー部隊誕生(1976)  
The birth of the Ranger Brigade of Sambu Firefighting Unit

高層ビル火災、高架道での交通事故、工事現場や工場内での特殊事故、水難事故などの災害時に出勤し、人命の救助・救出にあたるレンジャー部隊が発足しました。隊員は、数多い消防職員の中から選ばれました。



第1回やっさま祭り開催(1977)  
The 1st Yassa Festival

お年寄りから子どもまでだれでも歌え、すぐ踊れる「やっさま祭り」が開催されました。全市民の心がふれあう、新しいふるさとづくりをめざす市民のお祭りが誕生しました。

1975年【昭和50年】	2月 第8代市長に早野尚治就任	3月 公共下水道事業に着手	10月 第12回国勢調査 人口3万3406人、世帯数8364世帯
1976年【昭和51年】	12月 豊成小学校屋内体育館完成	12月 山陽新幹線、岡山〜博多間開業	12月 沖縄国際海洋博開催
1977年【昭和52年】	3月 豊成小学校新校舎完成	3月 山武郡市森林組合発足	3月 図書館を東金1163番地に移転
1978年【昭和53年】	4月 源幼稚園開園	4月 東金市緑花木センターオープン	4月 福岡小学校新校舎完成
5月 東金市職業相談所開設	5月 鶴嶺小学校新校舎完成	5月 「東金市長期計画」策定	5月 東金市が法務省から人権モデル地区に指定
6月 公平公民館完成	6月 市天然記念物指定に墨染桜	6月 鹿兒島県で5つ子誕生	6月 東金市が法務省から人権モデル地区に指定
8月 第1回やっさま祭り開催	8月 石橋一弥前市長衆議院議員当選	8月 鹿兒島県で5つ子誕生	8月 東金市が法務省から人権モデル地区に指定
9月 中央公民館完成	9月 鹿兒島県で5つ子誕生	9月 鹿兒島県で5つ子誕生	9月 東金市が法務省から人権モデル地区に指定
10月 健康センター業務開始	10月 鹿兒島県で5つ子誕生	10月 鹿兒島県で5つ子誕生	10月 東金市が法務省から人権モデル地区に指定
11月 三笠宮殿下を迎え30周年記念県レクリエーション大会開催	11月 鹿兒島県で5つ子誕生	11月 鹿兒島県で5つ子誕生	11月 東金市が法務省から人権モデル地区に指定
12月 第1回文化展開催	12月 鹿兒島県で5つ子誕生	12月 鹿兒島県で5つ子誕生	12月 東金市が法務省から人権モデル地区に指定
1979年【昭和54年】	1月 サンピアオープン	1月 サンピアオープン	1月 東金市が法務省から人権モデル地区に指定
2月 サンピア前に東金中央公園完成	2月 サンピアオープン	2月 サンピアオープン	2月 東金市が法務省から人権モデル地区に指定
3月 市天然記念物指定に八坂神社の櫻・銀杏	3月 サンピアオープン	3月 サンピアオープン	3月 東金市が法務省から人権モデル地区に指定
4月 市天然記念物指定に八坂神社の櫻・銀杏	4月 サンピアオープン	4月 サンピアオープン	4月 東金市が法務省から人権モデル地区に指定
5月 市天然記念物指定に八坂神社の櫻・銀杏	5月 サンピアオープン	5月 サンピアオープン	5月 東金市が法務省から人権モデル地区に指定
6月 市天然記念物指定に八坂神社の櫻・銀杏	6月 サンピアオープン	6月 サンピアオープン	6月 東金市が法務省から人権モデル地区に指定
7月 市天然記念物指定に八坂神社の櫻・銀杏	7月 サンピアオープン	7月 サンピアオープン	7月 東金市が法務省から人権モデル地区に指定
8月 市天然記念物指定に八坂神社の櫻・銀杏	8月 サンピアオープン	8月 サンピアオープン	8月 東金市が法務省から人権モデル地区に指定
9月 市天然記念物指定に八坂神社の櫻・銀杏	9月 サンピアオープン	9月 サンピアオープン	9月 東金市が法務省から人権モデル地区に指定
10月 市天然記念物指定に八坂神社の櫻・銀杏	10月 サンピアオープン	10月 サンピアオープン	10月 東金市が法務省から人権モデル地区に指定
11月 市天然記念物指定に八坂神社の櫻・銀杏	11月 サンピアオープン	11月 サンピアオープン	11月 東金市が法務省から人権モデル地区に指定
12月 市天然記念物指定に八坂神社の櫻・銀杏	12月 サンピアオープン	12月 サンピアオープン	12月 東金市が法務省から人権モデル地区に指定

